

あいのて

栗生小学校
4年学年通信 No. 27
令和5年2月22日

参観日ありがとうございました

4年生は、参観日で「ミニ2分の1成人式」を行いました。一人ひとりが将来の自分へ思いをさせて夢作文を読みました。そして、思い出のダンスと感謝の歌を元気一杯に、そしてかわいく披露しました。最後に10年間の感謝の気持ちを込めて、保護者の方に手紙を読んで渡しました。参観頂いた保護者の皆様には、あたたかく見守っていただきありがとうございました。

福祉体験学習！

2月7日(火)に、日本盲導犬協会の方を講師としてお迎えし、盲導犬特別授業を行っていただきました。「盲導犬ユーザーに出会ったら、犬ではなく人を見てください。勇気を出して、盲導犬ユーザーに『何か困っていますか。』と声をかけてください。」というお話がありました。

わたしが初めて知ったことが2つあります。1つ目は、目の見えにくい人、見えない人は、日本だけで30万人もいるということです。とてもおどろきました。2つ目は、もうどう犬も飲食店やスーパーに入れることです。目の不自由な人ももうどう犬と一緒にいろんなところに行けることを知りました。わたしは目の不自由な人を見かけたら、困っていないか、声をかけるようにしたいです。勇気を出せるようにがんばりたいです。

白石 果歩

もうどう犬の学習がありました。もうどう犬はどんなことができるのかを教えてくださいました。もうどう犬は、目の見えない人、見えにくい人のためにいます。一緒に歩いているときに段差などがあると、ユーザーに確認してから上ったり下ったりします。ぼくは、もうどう犬がどんなに大切かを知ることができてよかったです。

矢追 慶二郎

ぼくは、もうどう犬の大切さがとてもよく分かりました。ぼくが一番すごいと思ったのは、すわることやふせはもちろん、階段をのぼる時は、前足を一段上げて知らせ、下りる時は止まって合図をしていることです。これからは、もうどう犬ユーザーの方が困っていたら、声をかけて助けていいます。

城田 壮馬

新扇橋橋げた工事見学！

2月9日(木)に、4・5・6年生は扇橋の橋げた工事の様子を見学しました。工事中の橋の上に登り、門型クレーンを手動で動かして微調整をし、100トンの橋げたを動かしていく様子を、間近で見学させていただきました。さらに、橋のたもとからクレーン車の運転手さんに手で合図を出して、アームを上下左右に動かすという貴重な体験を全員がさせていただきました。スペシャルな1日になりました。子ども達の作文を紹介します。

見学に行ってみるとびっくりしたことは、橋げたの運び方です。橋げた1つをはめる時、クレーンゲームのような大きなもので動かしていました。はじめは手作業でゆっくりゆっくり上がり横へ移動していました。そのくり返しに、すごく時間がかかると思いました。命づなを付けていても落ちそうで、見ているわたしもひやひやしました。そんな中、みんなのために橋を作っているすごいと思いました。

高尾 くるみ

橋を作っている所を見に行きました。端にロープのようなくさりをつけて引っ張るのがたいへんそうでした。また、クレーンに指示を出す人もいました。わたしもやらせていただくと、とても楽しかったです。見に行くことができてよかったです。

石川 茉夕

わたしが橋げた工事を見学しておどろいたことは、何千人もの人が長い間協力して、やっとわたし達が使っている橋ができていたことです。それに、今使っているおうぎ橋もたくさんの人が苦勞して作った橋だと思うのでその方達に感しゃしたいです。これからも工事をがんばってください。

平井 小春



参観日



盲導犬特別授業

お知らせとお願い



2月後半~の予定

- 【2月】24日(金) 長なわとび大会
- 【3月】1日(火) 6年生を送る会

☆算数の学習で、箱の形について学習をします。お菓子の箱や日用品の箱などがあれば、1人2・3個持ってきてください。

よろしくお願いします